



世界をつなぐために

小栗 献 (日本基督教団神戸聖愛教会牧師)

天使は言った。「恐れるな。わが方は、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなた方があなたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなた方が方は、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなた方が方へのしるしである。」すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。

「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」

(ルカによる福音書 2章 11-14)

クリスマスは子どもにとっても大人にとっても楽しいお祝いの時です。でも今年はいつものように祝うことはできません。Celebrate (祝う) という言葉のもととなったラテン語の Celeber は「群がっている」という意味ですから、コロナとお祝いとはすこぶる相性が悪いのです。それにしても、こんなに世界中でクリスマスが祝われなかったことって、これまでにあったでしょうか？

イエス・キリストの誕生の知らせは野原にいた羊飼いたちに伝えられました。天使は告げます。

「今日、ダビデの町であなたがたのために救い主がお生まれになった。」

羊飼いたちは、当時の社会の中ですみっこに追いやられた存在でした。多くの人々が集まる神殿に出入りできない人たちでした。でも、イエス様の誕生の知らせはその羊飼いたちに真っ先に知らされたのでした。

羊飼いたちはベツレヘムの飼葉桶の赤ちゃんに会いに行きます。飼葉桶の周りに人は群がっていませんでした。寒風吹きすさぶ粗末な馬小屋に換気の必要はありませんでした。いや、馬小屋すら存在しなかったかもしれないのです。でもそこには希望の光が注がれていました。静かにひっそりとした夜。それが最初のクリスマスの礼拝となりました。

わたしたちはいま、コロナによって、これまで築いてきた関係が断ち切られていくような不安を抱かされています。社会の分断をあちこちに見ています。その中で迎えるクリスマスはどんなクリスマスなのでしょう？

イエス・キリストは、関係をつなぐために生まれました。分裂した世界を一つとするために、キリストはこの世界に來ました。クリスマスは、そのことを心に刻み、希望を確かにし、世界の和解のために生きる決意を新たにする時です。そうであれば、わたしたちは、まさに今こそ、新たにこの世界に到来するイエス・キリストを待ち望むべきではないでしょうか？

羊飼いたちは、キリストの誕生を「祝う」ためにベツレヘムの飼葉桶に來たのではありません。自分たちの「救い主」に会いにきたのであり、天使たちが歌った「地に平和！」という賛美の言葉を確かめに來たのです。救い主を見た羊飼いたちは、喜びにあふれて賛美の歌を歌いながら帰って行きました。すべて天使が告げた通りだったからです。

今年のクリスマス。派手なお祝いはないかもしれませんが、皆さんが心の深い場所にイエス・キリストをお迎えすることができるように、キリストが皆さんの傷ついた心を癒やして下さるようにお祈りしております。クリスマスおめでとうございます。

今年は会館でつどう「みんなで祝うクリスマス」が開催できませんので、機関紙でクリスマスメッセージをお届けいたします。神戸聖愛教会は神戸YWCAのすぐ近くにあり、秋のバザーでコラボするなどいつもご協力をいただいています。来年3月には、小栗献牧師をはじめ教会員の皆さんのお力を得て、神戸YWCA創立100周年記念式典を神戸聖愛教会からオンラインで開催いたします。

神戸YWCA100年 思いをつなぐ会



神戸YWCA100年の今年、1月18日と9月26日に、長年活動された会員4人のお話を聞く機会を得た。久しぶりの再会にそれぞれ30人が参加した。

渡邊順子さんのお話は「ふたりの姉」。夫の姉に誘われ1951年に入会。実姉の戸山恭子さんと共に、上筒井の新会館建設募金活動や震災支援活動に多大な貢献をされた。

片山恵さんは「声の奉仕」グループに参加、震災後の配食活動など地域福祉活動に活躍。一方、日本YWCA中央委員として多くのプログラムに参加され、その経験は神戸YWCAで生かされた。

佐伯かをるさんは神戸YWCA

学院第1期「日本語教師養成講座」を受講後、講師として活躍された。会員としても平和活動、特に現代史勉強会「いもづる」グループにも関わられた。

中尾廣美さんは、高校生のとき神戸YWCAに関われ、名谷地域に「もより会」設立のために力を注がれた。今は「キリスト教基盤部」「聖書を読む会」や「文学講座」に所属されている。

4人の方の神戸YWCAとの出会いはそれぞれ違うが、活動を通



片山 恵さん



渡邊 順子さん



佐伯 かをるさん



中尾 廣美さん

じて「勉強の機会を与えられた」「自分を高めることができた」と話された。参加者の心に沁み印象に残ったと思う。

(会員委員会)

神戸YWCA分室のようす

神戸YWCA分室では、今年度の新企画「わいわい食事会」が新型コロナウイルスの影響で開催できずにいた。活動再開に向けて、9月にボランティアメンバーで話し合い、名称を「わいわい茶話会」として月2回開催することに決定した。さっそく旧食事会に参加していた利用者さんや会員に呼びかけた。

第1回は10月16日(金)に開催し16人が参加。開催にあたっては新型コロナウイルス感染対策を徹底し、自己紹介や他己紹介、橋本静子さんのピアノ演奏、ティータイム、おしゃべりを楽しんだ。

第2回は10月23日(金)に開催し12人が参加。「今どきの流行りもの」と題して、韓国の人気音楽グルー



木曜日の「くるくる」

プ「BTS」について川辺比呂子さんが解説。スマホ動画の見方も教えてもらい好評だった。2回とも参加された利用者さんは、見違えるほど元気になられ生き生きされていたのが印象的だった。

また、10月22日(木)、23日(金)には、地域のお店「くるくる」もオープンし、久しぶりに買い物を楽しむ人でにぎわった。

これらの小さな活動が、地域の生活を少しでもサポートする力となればと願っている。

(三浦 啓子、井上 みち子)

世界YMCA・YWCA 合同祈祷週

テーマ「希望の光：実践をともなう
霊性によってレジリエンスのあるコ
ミュニティーを創る」

11月10日(火)、コロナ感染防止対策を講じながら、神戸YMCA・YWCA合同礼拝が神戸YMCAのチャペルにて開催された。京都YWCA総幹事の山本知恵さんが「あっち側の私、こっち側の彼女」と題して、礼拝のメッセージをしてくださった。

京都YWCAは自立援助ホーム「カルーナ」(なんらかの理由で家庭にいられなくなり働かざるを得なくなった15歳～20歳までの少女たちのための施設)を運営している。お話は、その一期生のひとりの少女が「レジリエンス」(うまく適応できる能力)を身につけて行く過程を見守り、寄り添い、ありのままを受け入れながら無条件の愛情を注ぐ「セーフスペース」をいかに作っていくかが問われている、というものであった。

実は、『あっち側の私、こっち側の彼女』(朝日新聞出版)は、この少女が自らの人生を記した本である。

礼拝後も「カルーナ」の活動について、さらに詳しくお話を聞く会を持つことができた。

(キリスト教基盤部)



山本知恵さん

讃美歌を歌おうかい



「讃美歌を歌おうかい」は、8月を除く毎月第1木曜日の15時～16時まで、神戸YWCA会館のチャペルで歌っています。前のコーラスグループが終わることになり、メンバーの中から讃美歌を歌いたいとの希望もあって、2006年6月1日から始まりました。

伴奏は橋本静子さんをお願いし、「讃美歌」と「讃美歌21」を順番に歌ってきました。また、メンバーからのリクエスト曲を歌ったり、橋本さんが讃美歌の作詞者や作曲者についての解説やピアノ演奏を聴かせてくださったりして、心豊かな時を過ごすことができ感謝しています。新型コロナウイルスの影響で今年の2月から休会のままですが、1日も早く再開できますよう願っています。

いつからでも自由に気軽に参加して頂き、共に歌う喜びを味わってくだされば嬉しく思います。

(大工原則子)

2020年度神戸YWCA定期会員集会
2021年3月13日(土)

あの不思議な光景を見届けよう

先日オンラインで、神戸YWCA被災者支援プログラムのメンバーが福島YWCAメンバーに、福島の現状や外部団体への要望等の話を伺った。新型コロナウィルスの苦しみの中にあるが、遠距離も飛び越えて顔を見たり話を聞いたりできるようになったことは、嬉しい。

今はウイルスが世界を席巻しているが、10年前、福島の人たちは放射能という見えない脅威と闘っていた。わたしは被災者支援プログラムの担当職員として神戸YWCAに入り、様々な人と

会い、話を聞いてきた。しかし今、自分がウイルスと直面する立場になってみて、あの時の福島の生活者の人たちの気持ちは、やはり十分にはわかっていなかったのだな、と思う。

福島の人たちは、迷いの中で多くの選択をして、現在の生活を選び取ってきた。新型コロナウィルスが感染拡大し、わからないことばかりの中で私たちも選択していく。正しい選択を求めるのではなく、隣人を愛する選択とは何かを皆と模索していきたい。(総幹事・西本 玲子)

◆ 会員の皆さま ◆ 次期運営委員・指名委員候補者推薦のお願い

成人会員(18歳以上)の中から、次年度の運営委員・指名委員候補者の推薦をお願いいたします。運営委員の任期は1期2年で連続3期まで再選可能です。指名委員は任期が1期1年で、成人会員から3人、運営委員から2人が選出され、次年度の運営委員・指名委員候補者を選考します。推薦締切:2019年12月28日(火)
(指名委員会)

◆ 2020年度 標語聖句募集

来年度の活動の指針となる聖句を募集しています。メール・FAX・郵送などでお届けください。締切:2020年1月7日(木)
(運営委員会)

クリスマス ギフトセット

YWCA オリジナルチャリティードリップコーヒーと春井さんのはちみつがセットになった、クリスマスパッケージのギフトボックスです。

- Aセット:
ドリップコーヒー 5袋
はちみつ・大(500g) **¥3,000**
- Bセット:
ドリップコーヒー 2袋
はちみつ・小(100g) **¥1,000**



ご質問・ご注文は、ファンドレイジング実行委員会(担当・秋月)までお願いします。

私は6年近く戦争で外地へ行っていった父の復員後に生まれ、戦後の混乱の中、戦争を知らない世代の筆頭として育てられました。まさに団塊世代です。キリスト教とは中学入学の時に出会い、その後60年、教会生活を続けています。今はYWCA分室近くの教会の会員です。

民間児童館の館長として28年間働き退職した後、少しでも社会との繋がりを持ちたいと、YWCAの「カフェもぐもぐ」グループに参加させてもらっています。4月に会員に加えていただき、YWCAが地域に根差し、弱く、抑圧されている人々の側に立った地道な活動を模索されている姿に感銘を受け、微力ながら小さな力を神様の御用のために...と活動に参加させていただきたいと願っています。

(草地とし子)

秋の爽やかな気候の日々、今年も例年とは異なる様に見える。コロナ禍の中、この8カ月が生かされてきた人生の中で、私にとつてどのような意味を持つのか?と思いを馳せながら過ごしていきます。

たてこ
秋の爽やかな気候の日々、今年も例年とは異なる様に見える。コロナ禍の中、この8カ月が生かされてきた人生の中で、私にとつてどのような意味を持つのか?と思いを馳せながら過ごしていきます。



神戸YWCA 創立100周年 記念式典

2021年3月20日(土)

日本基督教団神戸聖愛教会
より、YouTubeでライブ
配信いたします。

●ときどき木曜カフェ 分室

12月10日(木)、1月14、28日(木)
14時～15時30分 マルシェとカフェ♪

●ちゃいやあらんど 分室

ママと子どもたち(0歳～幼稚園前)のグループ。
「ぬいぬいの会」

12月11日(金) 10～12時

参加費 500円

*別途材料費要

●わいわい茶話会 分室

分室でおしゃべりしませんか? 感染予防対策をし
て、楽しいひとときを過ごしましょう。

12月18日(金) 10時30分～12時

参加費: 300円(茶菓代含む)

*3日前までにご予約ください。

●カフェもぐもぐ 分室

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。

12月5日(土)、1月9日(土) 10時30分～13時

参加費 700円(おやつ付き) *要予約

●神戸・越年越冬活動(12/28～1/5) その他 ボランティア募集!(夜回り準備会)

12月29日(火) 10～15時

場所 神戸市東遊園地(中央区加納町6丁目)

震災のあった1995年12月から翌年1月にかけて
市役所が閉庁する期間、東遊園地に宿泊用のテ
ントを張り「冬の家」として、野宿を余儀なくされ
ている人たちと共に行政へ施策の充実を求めたの
が始まりです。神戸YWCA夜回り準備会は、毎年
チキンカレーの炊き出しを担当しています。

メール(yomawari@kobe.ywca.or.jp)でお問い合
わせください。

冬季 休館

2020年12月25日(金)、29日(火)～2021年1月5日(火)まで(まごの手・保育園を除く)

■ 学院だより

日本語教師養成コースでは
10月17日～11月14日、
「日本語ボランティア養成講
座(入門編)」を開講、6人
が受講した。来年2月からは
「日本語教師スキルアップ講
座」を開講予定。教師経験の
ある方を対象に、講義だけ
でなく実習で具体的な教授ス
キルとクラス運営について学
ぶ。(千葉 真理子)

■ 保育園だより

保育園の入口に念願の雨除
け屋根がつき、子どもたちは
スモーク色の屋根の下からみ
ると空の色が変わって見え
ることを発見しました。

日本キリスト教団神戸栄光
教会のベテスダ基金など多く
の方に支援いただき工事が
完了しました。皆さまの応援
に感謝します。

(園長・梅川玲子)

■ 分室だより

わいわいデイルームでは、
10月から介護予防講座と音楽

教室を開始した。感染予防対
策を実施したうえで、歌唱や
体操、脳トレなどを楽しんで
いる。コロナ禍で心配されて
いる体力や認知力の低下を防
ぐため、様々なメニューを取
り入れている。(塩見 洋子)

■ 運営委員会報告

(10月)

【報告】▶日本YWCA関連

①全国会員総会(書面決議の
方法確認等)、②LA II▶会員
活動関連①被災者支援プロ
ジェクト(オンラインイベ
ント)②ジェンダーグループ(杉
田議員発言に対するフラワ
ーデモ署名)③世界YMCA/
YWCA合同祈禱週④ファン
ドレイジング実行委員会(コ
ヒーとはちみつのクリスマス
ギフト販売、オンライン講座)

【議事】▶新組織検討(提案
書の確認、各部からの反応や
質問の共有、グループへの説
明等)

(11月)

【報告】▶理事会▶日本
YWCA関連①全国会員総
会(各市Yアピール、Y's

Wonderful Women賞)、LA
II▶指名委員会▶会員活動
関連①ファンドレイジング実
行委員会(オンライン講座)②
キリスト教基盤部③地域福祉
部(わいわい通信30号)

【議事】▶「神戸YWCA第
2世紀への一歩を踏み出そ
う」提案書の再検討、説明会
の内容検討▶2021年度神戸
YWCAビジョンと目標の決定
(書記・福田 百)

■ 理事会報告

10月3日(土)第2回理

事会開催。出席理事8人、出
席監事2人。日本YWCA「地
域YWCA支援短期貸出し」申
請の件、および神戸YWCA会
債実施の件が協議承認された。

10月31日(土)第3回理
事会開催。出席理事8人、出
席監事2人。日本YWCA「地
域YWCA支援短期貸出し」の
件、神戸YWCA会債内容の
件、新組織の件、創立100周
年記念式典のプログラム内容
の件について協議承認された。
(総幹事・西本 玲子)

■ 賛助員

岩村 義雄 丸公建設株式会社
(敬称略)

■ 編集後記

かさこそと落ち葉を踏みし
める。この一瞬、沸きあがる
感覚、心地よい。温かくやさ
しく包み込まれる。(S・I)

「公益財団法人神戸YWCA会債」のご案内

神戸YWCA理事会は、「公益財団法人神戸YWCA会債」
を発行いたします。関係者の皆さまにはこれまでも様々
なご支援をいただいておりますが、重ねて会債へのご協
力をお願い申し上げます。

名称：公益財団法人神戸YWCA会債

発行総額：1,000万円(但し1口50万円)

利子：無利子

発行条件：3年間据え置き後、償還します。

募集期間：

2020年12月1日(火)～2021年1月30日(土)

お申し込み・ご質問は、総幹事・西本までご連絡ください。

ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、
担い手となって働きませんか。

◆ホームヘルパー

常勤 月給198,100円～

パート 時給1,100～1,200円

登録型 時給1,000～1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

◆生活支援訪問
サービス従業者 900円/回

神戸YWCA
まごの手

☎078-231-3156



シャマイム

担当者 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)



0120-41-1059 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

西宮市段上町2丁目13-2

URL: <http://sanosousai.com>